

鳩山幼稚園だより



ピジヨっこ

地域とつながり 地域に愛される みんなだいすき はとやまようちえん 園長 岡部玲子 NO13 令和6年 3月号

雪の園庭(2月6日)



寒暖の差の大きい2月だったように感じました。20℃越えの日もあり、鳩山ではもう少しで夏日だったようです。(嬉しい!) 昼間の時間もだいぶ長くなってきたように感じます。暦の立春は旧暦なのでまだまだ名ばかりでしたが、3月に入ると梅の花も満開になりミモザの花も咲き始め、春を感じる事が多くなってきたように思います。

幼稚園では進級・進学を意識する取り組みが始まりました。さくら組はにじ組に送るプレゼントの製作が始まりました。にじ組は自分の名前の練習、ひばり保育園との交流、自画像の制作、そして卒園式練習も始まります。2月はたくさんの行事があり、子供たちが楽しみながら成長していく姿が見られましたが、3月は1年の「大まとめ」としての充実した日々を過ごしていきたいと思ひます。

地域とつながり、地域に愛される“みんなだいすきはとやまようちえん”

鳩山幼稚園では、令和2年度・3年度には「豊かな感性や表現力」の育成を目指し絵本の読み聞かせや絵本ノートなどの「読書活動」と、野菜や身近な花などを中心とした「栽培活動」に取り組んできました。令和4年度は「持続可能な社会の創り手」への芽生えを目指して、多くの体験とその体験を発展させた実践活動に取り組んできました。(幼稚園で出来るESD)

鳩山町では幼児教育検討委員会の答申を受けて、令和6年から3年保育の導入が決定されこともあり、幼稚園を持続発展させていくために今年度、これまで取り組んできた実践を活かしながら、町内唯一の幼児教育機関(幼稚園)として、地域とつながり愛されていく幼稚園となっていくための取組をしてきました。2月は1年のまとめとして、地域とつながり、地域に愛される幼稚園を目指せたかの検証を含め、お世話になった地域の方への感謝の会や来年度につながる泉井体験交流センターとコラボした取組を行いました。

<お世話になった地域の方に感謝の気持ちを伝えよう> 2月19日(月) 給食会食

2月19日(月)に、竹林散策でお世話になった前教育長の関口先生ご夫妻と、田んぼ体験でお世話になった清水さんをお招きして、ささやかですが感謝の気持ちを伝えました。

子供たちの似顔絵の色紙を渡し、園歌とカレンダーマーチの歌を披露しました。お招きした皆さんからも一言いただきました。その後、一緒に投げゴマで遊びました。(鳩山幼稚園の年長の子供たちは全員が投げゴマを回せますが、お招きした皆さんも全員が回せるので、みんなで楽しく遊ぶことができました。)その後全員で給食を一緒に美味しくいただきました。

短い時間でしたが感謝の気持ちを伝えることができたら幸いです。

お世話になったみなさんへ園児の手作りプレゼント



投げゴマで

一緒に遊ぼう

給食で会食

談笑しながら給食

ありがとうございました

歌も披露

ありがとうございました

地域の施設(泉井交流エリア)とのコラボレーション ー食育につなげようー 2月20日

<幼稚園産の紫サツマイモとサラダほうれんそうを使ってカップケーキを作ろう！>



<材料>

- ①ホットケーキミックス
- ②豆乳・砂糖・卵・バター
- ③畑山産大豆のきな粉
- ④ほうれんそうのペースト
- ⑤加熱した紫イモの角切り
- *一人1種類ずつ計2個

子供も大人も全員がとても楽しみにしていた『お菓子作り』

エリア責任者の小澤さんと何度も打ち合わせをして、20日を迎えました。(小澤さんはお料理の先生とも何度も打ち合わせや試し作りをしていたと思います)お陰様で大変スムーズに作る事ができました。(片づけも全部エリアの方がやってくれました。)

焼きあがった時の子供たちの「うわー!いいにおい!」「おいしそうー!」の声。1つはその場で出来たてを試食。全員がぺろりと食べてしまいました。もう1つは、かわいいラッピングをして園まで届けてくれました。

幼稚園で採れた野菜がいろいろな姿に変身することも学べたと思います。(食育)

*お菓子を焼いている間、子供たちはエリアの遊具で遊んで待っていました。



20日はとても良い天気でした。子供たちはお菓子を幼稚園で採れた作物を使って作り、エリアの遊具で思い切り遊び、できたてを食べ、おみやげまであり、本当に幸せな一日でした。エリアとのコラボレーション企画は来年度も続きます。

活動の流れ <3月>

時 期	さくら 組	に じ 組
3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> • にじ組の卒園式の会場の飾りを作る。 • ジャがいもを植える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 卒園式の練習をする。証書の受け方・並び方入退場の仕方等
中旬	<ul style="list-style-type: none"> • にじ組へのプレゼントを作って贈る。 • にじ組の卒園式の練習を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> • さくら組とお別れの会をする。
下旬	<ul style="list-style-type: none"> • 自分のロッカーの整理をする。年長組に持ち物を移動する。 • 年少組修了式に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の保育用品を整理する。 • 卒園式に参加する。



【2月のピョっこフォト】 <園の日常>



28日(水) お誕生会・ポンポコの会



27日(火) 29日(木) ひばり保育園の年長さんが遊びに来ました



幼保連携の一環としてひばり保育園の子供たちと遊びました。子供たちはすぐに仲良しになりました。小学校に行くと同じ小学校に行く子供たちです。
3月4日にはひばり保育園に遊びに行きました。

み～んな！げんき！

さくらぐみ

『こうするのは、どうかな？』

さくら組担任 星野 佐和子



☆サボテン山☆ 二月にしては暖かな日、砂場でA君が山作りを始めました。そこへB君が加わり、山がだんだんと大きく高くなってきた時の事です。そろそろ完成間近になり、山の先端作りが始まりました。先端を平らにしたいA君と、尖らせたいB君。「違う違う！」と、二人の口調が少しずつ強くなっていきました。「僕は、平らにしたいんだよ。」とA君。「僕の話も聞いてよ。」とB君。楽しみながら作ってきた砂山でしたが、それぞれが作りたい、先端の形が違うようでした。そこで担任が「二人で作戦会議をしてみたら、もっと素敵な山が出来そうじゃない！」と声を掛けると、二人は顔を見合わせて、少し遠慮気味に「...尖りは、棒を刺してトゲトゲみたくするのはどう？」とA君。どう返事を返すのか、どきどき見守りました。すると「あっ！いいね！じゃあさ、山の形を少し平らにして、サボテン山にする？」とA君。それを聞いて、思わずにっこりのB君。二人の話は、まとまったようでした。「この山に棒を刺すのを手伝って！」と、近くに居たクラスの友達にも声を掛け、A君とB君の表情はなんだかとても嬉しそうでした。子供たち自身が考えて「こうするのは、どうかな？」と、話が出来るようになってきた事に、とても成長を感じました。

☆頑張りカード☆ 今まで、雲梯や鉄棒を経験する機会があまり無かった子も、頑張りカードをきっかけに、みんなと一緒にやら、やってみようかな！と雲梯のぶら下がり、鉄棒の豚の丸焼きに挑戦しました。出来たことが自信に繋がるとその後、自ら進んで挑戦をする子、「手にパワー溜まった！」と毎日手を見せてくれる子もいました。現在は、大縄跳び、缶ぽっくり、ペダルローラーを、楽しみながら、取り組んでいるところです。さくら組になり約1年が過ぎようとしています。身体の使い方も少しずつ上手になり、筋力もついてきました。友達と一緒に挑戦する姿が見られるようになっていきます。

にじいろ

『ドッジボールやりたいな！』

にじ組担任 窪田幸恵

「ドッジボールやりたいな！いつやる？」と毎日楽しみにしているAちゃんは、担任にいつできるのかを確認し、「10の針（時計の針）になったらドッジボールやるよ！」と周りの友達に声を掛けてまわります。1学期から続けてきたドッジボールですが、ルールの理解はもちろんですが、3学期になってからはどの子も見違えるように動きがよくなり、白熱した戦いが繰り広げられています。最初はボールが飛んでくるとドキドキしていたBちゃんも、飛んできたボールに手を伸ばし自分から取りに行く姿が見られるようになりました。「ちょっと苦手なんだよね」と言っていたC君は、「やった～！今日は最後まで生き残れた！」と一度もボールに当たらずに逃げ切れたことを嬉しそうに担任に伝える姿が見られるなど、ゲームを重ねるごとに一人一人がドッジボールの楽しさを段々に味わえるようになっていきました。



当てたり、当てられたり、体をよじってボールをよけたり、今のにじ組さんのドッジボールをしている時の姿には勢いがあり、担任の私も驚かされます。そして、見ていてとても楽しいです。何より子供たち自身が、自分たちが遠くまでボールが投げられようになったこと、狙って当てられるようになったこと、友達と協力してゲームが進められるようになったことなど、多くのできるようになったことを感じて、自信をもって取り組んでいるように感じられます。卒園まで残り少ない日々ですが、皆で体を動かし、笑ったり喜んだり、時には涙して…「皆でしたドッジボール楽しかったな！」と楽しい思い出の一つとなるように、取り組んでいきたいと思えます。